

新西町内会広報

発行責任者
増川美佐恵

第39回

新西子ども餅つき大会

17名の子どもが参加



12月6日(土)、町内青少年部主催「新西子ども餅つき大会」が新西会館で開催された。
市内の小中学校では、インフルエンザによる学級閉鎖が相次いでいるが、申込者全員が元気に集まった。

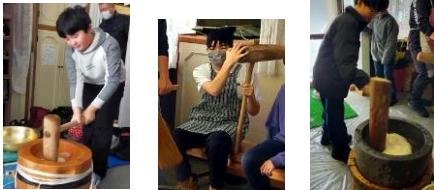
準備から振舞い用餅つき

10時30分開始の前、役員は9時集合。婦人部を中心に餅に絡める食材の準備をスタート。レシピを見ながらみたらしやきなどを作製。台所に湯沸し器がないので、カセットコンロを使いやかんで大量のお湯を沸かすのにひと苦労。他の役員は手分けをして、

大広間に飲食会場を設けたり、玄関ホールに大臼、小白を準備したり手際よく作業を進めた。藤田青少年部長は、マイ保温バッグを持参して、餅菓子専門おぎ乃まで蒸し米を受け取りに出发。ひと白めの10時に間に合うタイミングで蒸し米が到着した。

つき手担当は青少年部幹事の太田さんと小笠原さん。交代でついた。途中から幹事の息子さん(中学生)が助っ人で加わった。今年で2回目の経験なので頼もしい。来年も

餅つきの様子



よろしくお願いします。
手返しは婦人部副部長の矢代さんが初挑戦。はじめは、返しやつき終わりのタイミングの判断に悩みながらも、次第に感覚を掴んで最後の4白めまで無事務めた。
また、元交通部長の杉内明さんが陣中見舞にお越しくださいました。

開始時間前に到着した子どもたちは、早々と臼の近くに並んで、餅つき体験を待っていたが、「先にお餅を食べてからね」と役員が大広間に誘導する様子もあった。
開始時刻を過ぎたころには、大半の子どもたちや保護者が到着し、餅つき会場に順番待ちの列をつくった。
いよいよ子ども餅つきが始まると、小さな臼と杵で「ぺったんぺったん」と楽しそうに笑顔いっぱい餅をついていた。幼児は保護者と一緒に行ったり、ひとりで行ったりとスタイルは様々。楽しんで、三巡する児もいたほど。小学生の希望者と中学生は大きな臼と杵でついた。
部活動後に駆けつけてくれた中学生は、餅つき終了後の到着だったので、餅を食べて帰宅した。来年は間に合うことを祈っています。

子どもたちの餅つき

開始時間前に到着した子どもたちは、早々と臼の近くに並んで、餅つき体験を待っていたが、「先にお餅を食べてからね」と役員が大広間に誘導する様子もあった。
開始時刻を過ぎたころには、大半の子どもたちや保護者が到着し、餅つき会場に順番待ちの列をつくった。
いよいよ子ども餅つきが始まると、小さな臼と杵で「ぺったんぺったん」と楽しそうに笑顔いっぱい餅をついていた。幼児は保護者と一緒に行ったり、ひとりで行ったりとスタイルは様々。楽しんで、三巡する児もいたほど。小学生の希望者と中学生は大きな臼と杵でついた。
部活動後に駆けつけてくれた中学生は、餅つき終了後の到着だったので、餅を食べて帰宅した。来年は間に合うことを祈っています。

飲食会場では

まずは餅選び。会議室に用意された餅から、希望の味の餅を皿に乗せてもらい、大広間で食べる。つきたての餅に子どもたちの感想は皆「美味しい!」と。おかわりのため再び会議室に向かう姿もあった。
※右の写真ご参照
味の種類は、みたらし、あんこ、きなこ、納豆、そして海苔の5種類。さて、今回の人気の味はどれでしょう。結果は後ほど。



バックヤード



⑤ 予約希望者に渡されたお土産餅



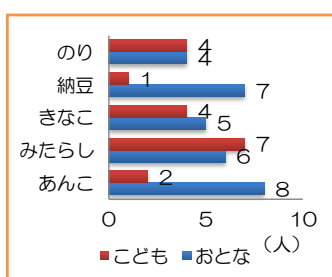
③ 保温バッグに入った蒸し米



餅の人気投票結果

どの味も美味しい餅だが、特に美味しかった餅は何味なのか。参加者にシールで投票してもらった。
子どもは丸いシール、大人は星形のシールに分けた。

結果、子どもが一番人気は「みたらし」、大人は「あんこ」だった。トータルでは「みたらし」で、みたらしが2冠に輝いた。



編集後記

我が家のカレンダーは予定を書き込むタイプです。残り1枚のカレンダーに、来年のカレンダーを重ねました。町内会行事、仕事、受診日等書き込みます。楽しい予定が入るよう願うことも忘れません。あれこれ思いますが、少しでも心穏やかに過ごしたいものです。皆様どうぞ良いお年を。